



シンポジウム

地域創生の時代へ

足元からつくろう 「やさしい社会」



上の写真は東近江市・鈴鹿の事例から

2012年 **5月20日** (日) PM. 1:00 受付 PM.1:30 ~ PM.4:30

会場 鈴鹿カルチャーステーション 参加費 1,000円
申込み・問い合わせ先 鈴鹿市阿古曾町 14-28 TEL/FAX 059-389-6603

みなさんはどんな街に住んでみたいですか？
どんなコミュニティをつくってみたいですか？
市民からの地域創生ってどんなことでしょうか、
コミュニティって何のことでしょうか、
そんなことを一緒に考えるシンポジウムです。

下の写真はドイツの事例から



主催 NPO 法人鈴鹿循環共生パーティー 共催 NPO 法人循環共生社会システム研究所 後援 鈴鹿市

市民がつくる、「地域創生の時代」

地域創生は新しい豊かさと幸福観の創造であり、東京集中型の構造からの脱却でもあります。



内藤正明

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター長・京都大学名誉教授・鈴鹿カルチャーステーション名誉館長。
京都市や滋賀県の環境政策を支援。低炭素都市会議など国際会議で基調講演を行う等、循環共生街づくりの世界的オピニオンリーダーです。『持続可能な社会システム』(岩波書店、1998)

講演

コミュニティとは何だろうか

絆は「しがらみ」になる可能性も——縛られたくない人も多いのではないだろうか？



荒田鉄二

鳥取環境大学 環境学部 准教授。
第一に、現代文明の危機の状況を正しく診断し、第二にその根本原因を明らかにし、第三にその解決策探ろうと、人間性の本質や文明とは何かなど、根本から検討していきます。『かしこいリサイクルQ&A』(岩波ブックレット、2000年)

フクシマとドイツのエネルギーシフト LIGHT FIRE プロジェクト



各地のコミュニティで自立分散型のエネルギー自給システムづくりが始まっています。

エクハルト・ハーン

KIESSアドバイザー。
ベルリンの環境政策、EU各国における環境に配慮した都市計画アドバイザー、ドルトムント大学空間計画研究所長など歴任。

内容

PM1:30 ~ 4:30

- 基調講演 ● 市民がつくる、「地域創生の時代」 内藤正明
- 補足説明 ● コミュニティとはなんだろうか 荒田鉄二
- 事例紹介 ● フクシマとドイツのエネルギーシフト LIGHT FIRE プロジェクト Ekhardt Hahn
- 東近江市えところの取り組み 近藤 隆二郎
- アズワンコミュニティ鈴鹿の紹介

事例紹介

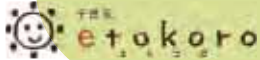
東近江市「えところ」の取り組み



東近江市は地域づくりの日本の先駆けとして知られています。その一端を「子民家 etokoro」の活動を通して紹介します。

近藤 隆二郎

滋賀県立大学准教授、NPO法人五環生活代表理事



アズワンコミュニティ鈴鹿の紹介

ここ鈴鹿でも「やさしい社会」の実現を目指した新しいコミュニティづくりが始まり、日本各地から多数の見学者が訪れています。



←未来の里山プロジェクト

街のはたけ公園 シニア「ベジコミクラブ」↓



会場・申込み・お問合せ先



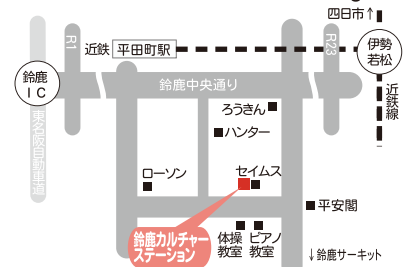
鈴鹿カルチャーステーション

〒513-0828 鈴鹿市阿古曾町14-28
TEL&FAX 059-389-6603
HP <http://www.scs-3.org>
E-mail scsoffice@scs-3.org



アクセス

近鉄「平田町」駅より
徒歩15分・
駐車場あり



シンポジウム 地域創生の時代へ参加 申し込み用紙

氏名(ふりがな)	年齢	性別 男・女	職業
住所(〒 -)			
TEL		Eメール	
備考			